

春季野球大会競技運営に関する注意事項

1. 主将会議で説明または決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させること。
2. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。
3. フリーバッティングは認めない。
4. 次の試合を行うチームは、前の試合の5回終了または試合開始1時間経過時に本部へメンバー2部を提出すること。その際攻守決定を行う。
5. 試合開始時刻になっても来ないチーム、また、塁審等に来ないチームは棄権とみなす。
6. 今大会は、Aクラスについてはリーグ戦とし、全試合9回戦、2時間以内で行う。なお、B・Cクラス及び壮年については、1試合7回戦とし、1時間30分以内を目標に行う。
7. 試合開始時刻前でも前の試合が終了した後30分で次の試合を行う。
8. 延長戦については、それぞれの試合時間の範囲内で行う。時間切れの時は抽選により勝者を決定する。ただし、決勝戦については12回とし、勝者が決定しない場合は、特別ルール（無死、満塁、継続打順）で行う。なお、壮年については9回とし、勝者が決定しない場合は、特別ルール（無死、満塁、継続打順）で行う。
9. 試合ボールについては、各チーム2個（健康A号）ボールを用意し、試合前にメンバー表2部と共に本部に提出する。
10. コールドゲームについては、5回終了とする。（日没、降雨及び5回以降7点差）
11. 背中には背番号以外に選手名をつけても良い。ただし背番号の上にローマ字で姓のみとする。
12. 試合規則は、特別グラウンドルールで特に定められた以外は、本年度公認野球規則による。
13. 投手は必ずプレートについてサインを見ること。
14. 木製または竹製バット以外は、J・S・B・Bのマークのないものは試合での使用を禁止する。
15. バットの素振り用金属パイプ及びリング類は、ベンチ内持ち込みを禁止する。
16. 規則適用の確認をできる者は、監督と当該プレイヤー、あるいは主将と当該プレイヤーのみとする。
17. 審判に手をかけた場合、理由の如何に問わず直ちに退場させる。
18. 試合中にベンチに入れるものは、登録されユニフォームを着用した監督、コーチ、選手20名（0番～99番）以内とし、チーム責任者1名、マネージャー1名、スコアラー1名とし、3名以内とする。
19. 放棄試合は、理由の如何を問わず許されない。
20. ファウルボールは、原則として攻撃側で処理すること。
21. 試合終了後は、両チームによりグラウンド整備を必ず行うこと。
22. 雨天については、当日午前7時30分から8時までに電話（理事長 小倉忠夫 090-2246-6139）で野球大会開催について問い合わせること。
なお、電話連絡がとれない場合には、試合会場にて確認すること。
23. 壮年については指名打者制を認める。ただし、支部大会のみとする。